



2023年8月29日

各位

会社名 株式会社マクロミル  
代表者名 代表執行役社長 グローバル CEO  
佐々木 徹  
(コード番号: 3978 東証プライム)  
問合わせ先 執行役 グローバル CFO  
橋元 伸太郎  
(TEL 03-6716-0706)

## 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 評価の方法

全ての取締役に対し、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明のうえ、質問票を配布し、全員から回答を得ました。そのうえで、取締役会事務局による当該回答の集計・分析を踏まえ、取締役会における討議を通じ、当社取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしました。

なお、評価を実施した大項目は以下のとおりです。

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の構成・規模
- ③ 取締役会の運営
- ④ 経営陣とのコミュニケーション
- ⑤ 株主・投資家との関係

#### 2. 評価結果の概要

当社取締役会は、評価を実施した上記の各項目において総じて高い評価となり、取締役会の実効性は十分に確保されているものと考えております。

「① 取締役会の役割・機能」としては、課題認識と対応策の実践について取締役会内で活発な議論がなされており、適切な取組みがなされていると評価された一方で、取締役会内外で議論を行う時間及び機会を更に増やし、中長期的な視点や経営理念等を踏まえた議論をより深めていく必要があると認識されました。また、昨年度の実効性評価時の課題事項であった経営陣に関する後継者計画については、昨年度から継続して課題の解決に取り組んでおり、相応の議論と検討が進んでいるものの、CEOや執行役の後継者計画についてCEO並びに執行役に求める資質及び行動特性等を整理し、候補人材の選定及び候補者へのトレーニングに活用するなど、計画のブラッシュアップが必要であると再認識されました。加えて、「個々の取締役等に必要とトレーニング機会の付与」に関し、各取締役はそれぞれ求められる高度な専門性を有していることから、これ以上の基本的なトレーニングを行う必要性は高くない一方で、今後は特に社外取締役が変化と拡大を続ける当社の事業や業界理解を更に深めるため、気軽に相談できる相談窓口を事務局に設置し、トレーニングを支援することができる体制をつくることや、必要に応じて執行役又は執行役員等から社外取締役に対する説明の機会を適切に設定することで、より充実したサポートを行うことが次の段階の課題として認識されました。

「② 取締役会の構成・規模」としては、社外取締役の割合やスキル等の多様性について、昨年度から継続して高い評価を得られております。

「③ 取締役会の運営」としては、重要議案や社外取締役からの依頼事項も適切に上程され活発に議論がされており開催頻度も含め適時に把握できる体制であるとして、高い評価を得られております。

「④ 経営陣とのコミュニケーション」としては、社外取締役が自身の経験を十分に活かす適切な機会は十分に提供されており、それぞれが議案に関する自らの専門性及び役割を認識したうえで、適切な意見を会議体に提供し、議論に貢献していると、高い評価を得られております。

「⑤ 株主・投資家との関係」としては、株主からのフィードバックや質疑応答等について取締役会において報告がなされており、適切に把握できているとの評価がされている一方で、今後は、株主との対話の仕組みの構築及び健全なサイクルを実行することで、株主と取締役との対話の機会を増加することが次の段階の課題として認識されました。

### 3. 評価結果を踏まえた今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ取締役会全体の実効性を更に高めていくために、特に以下の事項を含む課題への対応策を検討し、必要な対応策を実施することにより取締役会の機能向上に努めてまいります。

- ① 取締役会内外で議論の場を行う時間及び機会を更に増やしていくことで、中長期的な視点や経営理念等を踏まえた議論をより深めていく
- ② CEOや執行役の後継者計画についてCEO並びに執行役に求める資質及び行動特性等を整理し、候補人材の選定及び候補者へのトレーニングに活用するなど、計画のブラッシュアップを行う
- ③ 特に社外取締役が変化と拡大を続ける当社の事業や業界理解を更に深めるため、気軽に相談できる相談窓口を事務局に設置し、トレーニングを支援することができる体制をつくることや、必要に応じて執行役又は執行役員等から社外取締役に対する説明の機会を適切に設定することで、より充実したサポートを行う
- ④ 株主との対話の仕組みの構築及び健全なサイクルを実行することで、株主と取締役との対話の機会を増加する

以 上